事例No.	1384
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	神奈川県厚木市

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく意向調査の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

神奈川県　厚木市（森林経営管理制度に基づく意向調査の実施）

- 厚木市では、森林所有者の高齢化・不在地主の増加等により、手入れが行き届いていない森林が増加しているため、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度により、市内の私有林の森林整備に取り組む方針。
- 令和元年度は、市内の私有林を３地区に分け、そのうち１地区に対し意向調査を行った。令和２年度は、前年度に問い合わせや苦情があった箇所等を改善し業務を進めた。
- 令和３年度においては、前年の調査内容を検証するとともに、集積計画の策定へ進めていく。

□　事業内容

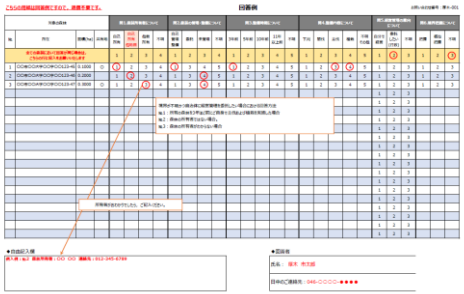
森林所有者への意向調査の実施

- 市内の私有林449ha（469人分）の森林所有者に対し、今後の意向を確認した。

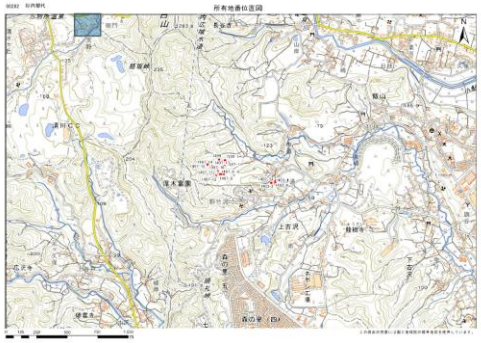
【事　業　費】7,667千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　449ha
調査対象者数　475人
うち回答者　348人（1,682筆）

・回答者の32%が今後も自己経営したいとの回答があったが、一方でほぼ同数の30.4%で委託を希望するとの回答があった。



（意向調査回答票）



（所有者森林位置図）

□　事業スキーム

森林所有者への意向調査

市 → 業者 → 所有者

□　工夫・留意した点

- 所有林を把握していない所有者へ地番をプロットした図面を個別に作成し、調査票に同封した。
- コールセンターを設置し、所有者からの問い合わせ等を対応することにより、業務を円滑に進めた。
- 正確な所有者情報の把握のため、固定資産課税台帳に記載されている森林所有者の情報を活用し、発送準備を行った。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	23,104千円
②私有林人工林面積（※１）	483ha
③林野率（※２）	28%
④人口（※３）	225,714人
⑤林業就業者数（※３）	36人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より